

次期・自然エネルギー立県とくしま推進戦略（仮称）の素案について

1 趣旨

「自然エネルギーの宝庫」である徳島県では、平成24年3月に「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」を策定し、太陽光発電をはじめ自然エネルギーの導入を積極的に推進してきた。

その後、「接続保留問題の発生」や「電力システム改革の進展」、「固定価格買取制度の見直し」に加え、国が「エネルギーミックス」において、2030年の自然エネルギー比率の目標「22～24%」を示すなど、自然エネルギーを取り巻く情勢は大きな変革の時を迎えている。

そこで、「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」を全面的に改定し、太陽光はもとより、風力や小水力など、多様な自然エネルギーの導入に取り組む。

2 概要

- (1) 期間 2015年度（平成27年度）～2018年度（平成30年度）
- (2) 目標 自然エネルギーによる電力自給率
2020年（平成32年）：25%
2030年（平成42年）：37%
- (3) 新たに4つの視点から「戦略プロジェクト」を再構築。
＜戦略プロジェクト＞
 - ・ 先進地域づくりプロジェクト
 - ・ 元気まちづくりプロジェクト
 - ・ 安心社会づくりプロジェクト
 - ・ 未来技術づくりプロジェクト
- (4) ロードマップを策定し、各プロジェクトについて進捗管理・評価を行い、「進化する実行計画」として必要に応じて見直しを実施。

3 今後のスケジュール

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 10月中旬～11月中旬 | パブリックコメントの実施 |
| 11月下旬～12月上旬 | 自然エネルギー立県とくしま推進委員会に案を提示 |
| 12月上旬頃 | 県議会定例会に案を報告 |